

新・東の風

令和3年度
4月号

昨日、今年度の入学式が無事終わり一安心しています。なぜなら、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急事態宣言が発令されたので入学式ができませんでした。今年も大阪市に4月5日から「まん延防止等重点措置」が適用され、日常の生活に戻るにはまだまだ時間がかかりそうです。

そんな中、本日始業式を行い、新学年が始まりました。今までとは違う学校生活がまだまだ続きます。しかし、私はこう思っています。

「コロナ禍なのでこれしかできない」ではなく「コロナ禍なのでこう工夫しよう」、「これまでの概念を変え、発想を豊かにして、新しいアイデアを生もう」と切り替えれば、「考える力」がより身につくはずです。そして、誰もが予想しきれない未来に適応する力が付くことでしょう。

さて、入学式で私は新生入生に「夢を持ち、夢の獲得に向かい、中学校生活を送りましょう」と今年も述べました。その一部分を紹介します。

「君たちは、夢を見るだけではいけません。自分の手に入れるには、どうしたらいいのかを考え、行動してください。そのためには、何が必要か。何をどうすればいいのか。そうなんです、夢を現実にするには、様々な力が必要です。特に育成すべき資質・能力の三つの柱が必要とされています。

一つ目は、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」これは学びに向かう力で人間性等求められています。二つ目は「何を理解しているか何ができるか」知識や技能が求められています。三つ目は「理解していること・できることをどう使うか」これは思考力・判断力・表現力等が必要になります。

与えられたことをするのではなく、何事においてもまずは自分で考え、自分で答えを導き出すこと。

もちろん、そこには基本的な学習能力があつてのことです。

君たちが成人になる頃には、予想もできない世界が待っています。その世界で生きぬくためにも、東生野中学校でたくさんの経験をして、自分の力にしてください。そうすることで少しでも夢の獲得に近づくことでしょう」



希望に満ちた新学期、誰もが「今年こそ、目標に向かって頑張るぞ!」の強い気持ちを持っています。その今の気持ちを一年間持ち続けてください。そうすれば、夢の獲得に近づくことでしょう。そんな君たちを先生方は全力でサポートします。